

# 昭和こじょう会便り

## 創立20周年記念特集

2012年3月 67号

発行：名古屋市高年大学鯨城会・昭和鯨城会

## 20周年記念特集 第67号 目次

表紙	紙	興正寺五重塔 .....	1
目次・表紙説明		.....	2
巻頭	紙	八事山興正寺 山主 梅村正昭 .....	3
お祝いの言葉		名古屋市 昭和区長 瀧 敬吾 .....	4
		社会福祉協議会 事務局長 柏 光次郎 .....	5
		高年大学鯉城学園 副学長 松浦 滋 .....	6
		鯉城会 会長 日比野 勝 .....	7
会長挨拶		昭和鯉城会 会長 枝廣啓三 .....	8
歴代会長回顧録		第2代会長 廣江昭二・第7代会長 日比昭満 .....	9
		第10代会長 田中龍夫・第11代会長 近藤勇雄 .....	10
		第14代会長 辻 慶明・第16代会長 渡辺信良 .....	11
		第17代会長 長谷川勝美・第18代会長 富永武義 .....	12
		第19代会長 内藤克巳 .....	13
記念式典報告		創立20周年記念式典 .....	14・15
20周年の記録		行事委員会 .....	16
		広報委員会 .....	17
		ボランティア委員会 .....	18・19
クラブ20周年特集		リズム体操クラブ10年の歩み .....	20・21
		グラウンド・ゴルフ回顧 .....	22
		社交ダンスクラブの歩み .....	23
20周年の歩み		昭和こじょう会便り表紙写真集 .....	24・25
		昭和鯉城会20周年の歩み .....	26・27
活動報告		昭和鯉城会活動状況 .....	28・29
行事案内		4月～6月の行事予定 .....	30
		24年度行事予定 .....	30
活動レポート		埋蔵金探し事業に参加 .....	31
行事レポート		熱田神宮初詣 .....	32
		ノリタケの森を訪ねて.....	33
		加子母の散策に参加して .....	34
自由投稿		随分自然が少なくなりました .....	35
		男子小便器考 .....	36・37
俳句		.....	38
掲示板		昭和鯉城会の総会案内 .....	39
訂正		.....	39
編集後記		.....	39
裏表紙		興正寺納骨堂 .....	40

### 表紙の説明

興正寺の五重塔は文化5年(1808年)に建立され、興正寺の象徴ともいえる建築物です。屋根は高さが約30メートルあり、軒の反りが美しい流線を描き、200年の年月を超えた風格のあるたたずまいを見せています。

東海4県下では唯一の木造の五重塔で、国の重要文化財に指定されております。

広報委員会

## 巻頭

### 新しい年が皆様に幸多かれと

八事山興正寺 山主 梅村 正昭

昭和鯨城会の皆様、創立 20 周年を迎えられましたことを謹んでお祝い申し上げますとともに、新しい年がより良い年であるようにと念じご挨拶を申し上げます。

昨年平成 23 年に起きた東日本大震災により国の生活・経済全てが重大な危機を迎えました。まだ被災の爪痕が残る悲惨な状況の中で新たに見直されたもの、それは家族や地域の『絆』かと思われます。年末の流行語にも選ばれていましたが、これは社会地域の繋がり希薄な世の中になっていたことの現れかと思ひます。被災地で、流失した跡地に佇み、亡き祖先の位牌を擁す老婦人や、「申し訳ない申し訳ない」と泥だらけの遺影を抱きかかえる姿を目の当たりにし、家族とは、友人とは、社会とはを今一度考え改むる時かと思ひました。私たちが忘れかけている、でも一番大切な絆を！



1 月のことを「睦月」と呼びますが「むつけき月」一年の初めての月であるため、特に仲良くお付き合いをしようとの意味を込めて付けられた名称と聞いています。今は家族にも一番必要な事に思われます。

1 月、2 月と年の始めに健やかな生活を営むために日本では古来より伝統行事や儀式が行われています。新しい年の始まりは、1 月の正月元旦です。家族が一年間無事に生活できるように祈ります。また季節の始まりは 2 月の立春で、節分の豆撒きがあります。

これは家族みんなが無事に過ごせるよう、災い転じて福となす為に全国で豆撒きの行事が行われます。家族の絆が見直されている中、今一度、お近くの会場にお出いただき、豆撒きに参加してみるのも必要なことと思ひます。

人生最大の目標は何か、それは家族みんなが健やかに一年を過ごす事こそ、本来の願いとしたいものです。

皆様方の七難即滅、七福即生をお祈り致します。

合掌

# お祝いの言葉

## 昭和鯨城会創立 20 周年によせて

名古屋市 昭和区長 瀨瀬 敬吾

昭和鯨城会が創立 20 周年という記念すべき節目の年を迎えられ、誠におめでとうございます。

平素は、地域活動にも熱心に取り組み、また区民まつりを始め区政の円滑な運営にご助力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年 3 月に発生いたしました東日本大震災の復興に向けて日本中が一丸となって被災地への支援を続けておりますが、日頃から地域の絆を大切にしていけることが、災害時にいかに重要であるかということをあらためて認識させられたところでございます。

昭和区では、地域のつながりを大切にしながら「住み続けたいなるまち～ホット(ほっと)タウン昭和」を目指して区政運営を進めております。安心・安全で快適な「ほっと」できるまち、人や地域があたたかい「ホット(温かい)」なまち、そしてふれあいやにぎわいのある「ホット(熱い)」なまち、そんなまちにしていきたいというメッセージを込めて「昭和区ホット・ほっとプラン」を策定し、各種の事業に取り組んでいるところでございます。

昭和鯨城会の皆様におかれましても、鯨城学園で学ばれ、その後も会の活動を通して培われた知識技能や経験を存分に活かされることで、地域活動の中心的な担い手となられることを大いに期待いたしますとともに、今後とも区政の推進にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会のさらなるご発展と会員の皆様のますますのご活躍をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。



ホットほっとタウン昭和  
マスコット ショウちゃん

## 昭和こじょう会20周年 祝言

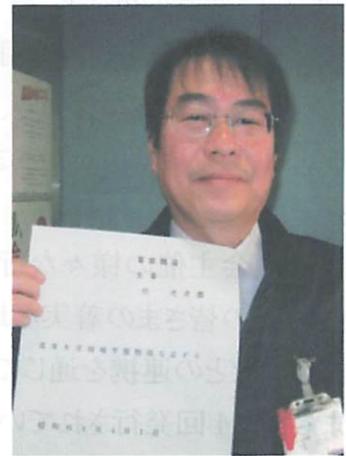
昭和区社会福祉協議会

事務局長 柏 光次郎

私が社協に入社して、30年ほどが経ちます。その間、多くの人事異動を経験し、おそらく名古屋の市区社協の中では一番異動回数が多いのではないかと思います。その中でも最も印象深かったのが、入社から4年が経とうとする時の異動でした。

「君、4月から高齢者の大学をつくる担当だ。頑張ってくれ！」という内示です。

えっ！まだ、千種区社協に来て2年なのに？おまけに、高齢者の大学って何？教育委員会の市民大学とどう違うの？ねえ、誰か教えて！これが、鯉城学園との初めての出会いでした。



学長も学園名すら決まってない。開設学科も決まっていない。影も形もない存在への挑戦。

手始めの、他県の老人大学の視察に始まり、そこから目まぐるしい3年間が始まりました。

学長は名古屋市長、学園名は「鯉城学園」開設学科は「生活」「文化」「園芸」…。そうした中で、徐々に私の心の中ではっきりしてきたことは、社協がこの事業を受託した以上は、「地域福祉の担い手の中核となる高年者の育成」も目指すということ。それは、高年者の眠れる能力の開発を通じて『大都市部での高年者の新たな生きざま像を模索する』という壮大なテーマへのチャレンジであるということでした。

こんにちは  
昭和社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
ころんでーす！



それから十数年。十数回の異動を経て、この昭和区に赴任してきた私が見たものは、「地域に貢献しようとしているOB会」の姿でした。

嬉しかった。本当に嬉しかった。「どんな些細なことでもやるよ！声かけて！」そう言われた時には、涙が出そうになった。

ともすると、自分の生きがいや幸せだけを考える人が多いなか「自分の生きざまとして地域への貢献を目指す」姿に感動を覚えました。

昭和こじょう会さん。設立20周年おめでとうございます。今、私は、近い将来に皆さんの背中を追って、地域活動に取り組み一員になりたいなと思っています。

## 20周年おめでとうございます

名古屋市高年大学鯉城学園

副学長 松浦 滋

昭和鯉城会の皆さま、設立 20 周年おめでとうございます。  
昭和鯉城会が平成4年4月に設立されて以来、会員の方々の地道なご努力の積み重ねで、今日では 220 名を超す会員を擁し一層の充実発展を遂げられました。心より敬意と賛辞をお贈り致します。



鯉城会主催の様々な行事への積極的な参加をはじめ、昭和鯉城会の皆さまの着実な地域社会貢献活動は、昭和区社会協議会などとの連携を通じて実に精力的に展開されておられます。また、年 4 回発行されている「昭和こじょう会便り」を拝見いたしますと、同好の方々による趣味の作品展や社会見学、講演会を通じての交流など、会員の方々の生き生きとした活動の様子が目の当たりに浮かびます。こうした昭和鯉城会の充実は、歴代の役員さんをはじめ会員の皆様が大切に育ててこられた賜物と実感する次第であります。皆さま方の実践活動は、まさに高年大学鯉城学園設立の趣旨の体现であり、心より厚く感謝申し上げます。

この度の名古屋市の事業仕分けの外部評価結果に対しては無念でなりません。名古屋市社会福祉協議会が運営する名古屋市高年大学鯉城学園は、高齢者の生きがいづくりをめざし、単に知識や技術を高めるだけでなく、自主活動を含めた協同学習の成果を社会参加に結びつけ、卒業後もそれぞれの地域で活動実践されております。2 年間の修業結果、自らの学びへの充実・健康増進・社会活動への参画意識が育成され、生き生きとした生活が創造され、病気予防からより積極的な健康増進にいかされています。入学時の平均年齢は 68 歳、卒業時には 70 歳になりますが、卒業生の皆さんのパワーは実に旺盛で、地域活動に貢献されております。高年大学の役割は実に意義深いものがあり、これこそが 25 年の実績であります。今回の外部評価を受け、名古屋市民の皆さんに高年大学鯉城学園、鯉城会の活動実践などの広報活動に努める必要性を痛感しております。

昭和鯉城会の皆さま方には今後とも高年大学鯉城学園に対して、温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

20 周年、誠におめでとうございます。

# お祝いの言葉

敬告委員会

## 昭和鯨城会 設立二十周年を祝して

鯨城会 会長 日比野 勝

昭和鯨城会の皆様、設立 20 周年おめでとうございます。昭和鯨城会が平成4年4月に設立されて以来、会員の方々の地道なご努力の積み重ねで今日では会員数 220 名を誇る市内有数の区会であり、地域ではなくてはならない存在となっております。



ゆめ緑道ごきそ川名での花壇・川名公園森づくり始め、地域に密着した様々なボランティア活動を展開しておられることに心より敬意を表す次第です。同好会活動で会員相互の親睦と健康増進を進め、また楽しい行事を定期的で開催されており、今後ますます会員の輪が広がることを願っております。また、皆さま方には日ごろより鯨城会活動にご理解と多大なご支援をいただき感謝申し上げます。

昨年、名古屋市「外部評価」で廃止との判定があり、これからも鯨城学園存続活動を展開しながら、社会の変化と時代の要請に対応した活動にも取り組んで行く必要性を感じております。豊富な知識・経験を持たれたる会員の皆様が果たす役割は今後益々大きなものがあると考えております。これからも区会・鯨城会・学園・在校生一体となり地域から評価される鯨城会と存在感のある鯨城会でありつづけ、これからも友情の輪と絆を築いて行きましょう。

最後になりますが、昭和鯨城会設立 20 周年の節目が、さらに素晴らしい区会になる出発点として、益々の発展と会員の皆様方のご多幸とご健勝を祈念致しまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

## 昭和鯨城会20周年記念を迎えて

刊 行 日 員 会 会 報 誌

昭和鯨城会 会長 枝廣 啓三

昭和鯨城会は平成4年4月1日創立以来、平成24年で20周年を迎えることが出来ました、創立当時の状況は記録が無く良く分かりませんが、平成24年度で会員数220名の大きな組織に発展してまいりました。

20年という長い歴史の中で、昭和鯨城会は「地域社会貢献活動」「展示会、広報事業」「健康増進活動」「クラブ同好会活動」等の事業の増進に務めてまいりました。

現在の昭和鯨城会の活動は、ひとえに会員の皆様と、その他各協力団体等のご協力の賜物であり感謝申し上げます。

また歴代の役員、委員会、学区幹事、クラブ同好会幹事等先輩方の皆様が苦勞され築かれたお陰であると深く感謝致しております。この先輩達が築かれたものを大事に致し、今後も活動を続けて行く所存で有ります。

この節目の創立20周年を迎えるにあたり、どの様に記念式典を行なったら良いか、平成23年5月度役員会で役員の中から7名の昭和鯨城会20周年記念行事委員会を設立し、行事の内容について検討してまいりました。

平成23年9月9日には「八事木曾路」にて昭和鯨城会歴代会長20周年記念行事意見交換会を役員一同と開催させて頂きました。歴代会長20名中11名が出席され、貴重なお話やご意見を多数受け賜り有難う御座いました。

記念式典で、ご挨拶頂くご来賓の方々、講演をして頂く先生、アトラクションに出演して頂く皆様、心良くお引き受け頂き有難う御座います。

また平成24年3月には「昭和こじょう会便り」20周年記念誌を発行することに致し、昭和鯨城会20年の歩みを調査するため「昭和こじょう会便り」の1号から66号まで揃えたく、会員よりの寄付をつのり、全ての冊子を揃えることが出来ました。貴重な資料をご寄付頂きました会員の方には厚くお礼申し上げます。

この昭和鯨城会の20周年記念を祝い御器所の天神町公園に「ヒツバタゴ」を一本記念植樹致しました。この一本の「ヒツバタゴ」が会員同士、会員と地域をつなぐ小さな絆と成ります様、また昭和鯨城会の益々発展致します様願っております。

この様な経過をえて10月度役員会にて昭和鯨城会の20周年記念行事の実施内容を決定させて頂きました。

この様に多くの方々の御協力を得て、昭和鯨城会の20周年記念行事が行われますことを感謝致し、厚くお礼を申し上げます。



## 歴代会長回顧録

### 趣味の陶芸と小さなボランティア

第2代会長 廣江 昭二

昭和鯉城会設立以来もう20年になるとは、まさに「光陰矢の如し」・人生八十路半ばになろうという我身の20年を振り返ると、良くも続いたものと感慨ひとしおです。この間体調に大きな負もなく健康に恵まれ、地域でのささやかな貢献が出来ていることに感謝さえ覚えます。

平成4年高年大学陶芸科卒業の翌年先輩から障害施設での陶芸ボランティアを依頼され同期の友人と二人で始めました。私達(高齢者)が出来るボランティアには限界もあり、自らの体力や諸々の余裕のある条件、例えば家を空けられることや時間のあることなど、無理のない小さなボランティアを目指す心積もりが必要かと思えます。

ボランティアの一端は次の通りです。ライトハウスは障害者デイサービスの一環として陶芸があり、そのボランティアを行うのです。焼物作りの指導というより手伝って一緒に作ると言った方が適切かと思われます。ものづくりは感性と枝の作業であることは当然のこと、これは健常者も障害者も同じであり、利用者の中に私達が手出しすることなく完成できる方もあるのには驚かされます。また陶芸の作業には道具の準備使用の手助け、場合によってはマンツーマンの手助け、後片付けもあります。

このボランティアは毎月いずれかの1週間(月～金の5日間)行い、1日2名か3名のボランティア要員が必要です(当初の要員は2名で2日間)。利用者は数名程度です。

このボランティアは私の心身のためにも役立っているのかなあと思う時もあります。今後は体調や身近に余裕がある限りあまり上段に構えず小さなボランティアを心掛けたいと思います。

### 虹の『絆』

第7代会長 日比 昭満

昭和こじょう会設立20周年ご同慶の至りです。ただ本体の「鯉城学園」そのものが昨年の名古屋市の事業仕分けの対象になっていることを憂慮しております。

さて、昨年末のメディアで大きく報道された「今年の漢字『絆』」について少し考えてみました。現代の複雑な人間社会は様々な『絆』が絡み合っていることは、どなたも実感されておられる事と思えます。夫婦・親子孫・兄弟・オジ・オバ・従兄弟など親族関係から、企業・団体の組織・職制、学校の先輩・後輩、更には近隣のおつきあい等など数え上げればキリがありません。ただ、これらに存在する『絆』は殆どが「縦又は横の繋がり」であり、大小の差こそあれ上下関係・利害関係が伴う場合が殆どです。そこで申し上げたいのが鯉城会会員同士の絆です。

- ① 年功序列無し
- ② 男女間格差無し
- ③ 利害関係もちろん無し

しかも私の知る限り良識にたけた方ばかりで、ココに存在する『絆』は序列・格差・利害など全く関係なく、有るのは縦でも横でもない友情という暖かい絆一本です。これぞ私は七色に輝く「虹の『絆』」と名付けたいと思います。いつまでもこの「虹の『絆』」を基盤として25・30周年・・・と続くことを念じます。

ただ、ここにも「格差」は存在します。それ

は体力・健康です。これは親から受け継いだカラダ＝天命・本人の自覚節制しかありません。最後に一言、私は自からが関与する同好会のモットーを『我々の財産＝一に健康、二に友人(出会い・絆)三・四が無くて又健康』と謳っています。

## 昭和鯨城会 20 周年おめでとう

第 10 代会長 田中 龍夫

昭和鯨城会 20 周年おめでとうございます。

13 期の任期を振り返ると、昭和鯨城会は先輩諸氏が並々ならぬ努力で築き上げてくれた区役所・その他の団体との信頼関係を大切にし、諸活動に取り組んできました。今まで出会ったことのないキャラクターの方が多くいました。心豊かな生き方・社会貢献を目指す生き方をしている人達、世の中は広いのだなあといふに勉強になりました。

高齢者になるにつれて気力・体力・思考力の自然の衰えは仕方ありませんが、健全に生きるには社会への広がりを持つことだと言われています。

平成 14 年 2 月に昭和スポーツセンターの開館に合わせるべく平成 13 年 5 月以降、13 期・14 期の役員一同一生懸命に努力した結果「昭和鯨城リズム体操クラブ」を発足させることが出来ました。生涯学習の一環として「明るく・楽しく・元気よく」体操を行うことによって、会員の健康増進と今まで以上に充実した会員相互の親睦と融和を計るため、微力ながら協力していきたいと思っております。

何かにつけ変動する時代になりましたが、今日までに鯨城会が発展してきたのは、歴代役員・会員の並々ならぬ努力の賜物であることは申すまでもありません。今後とも高

齢者の集いの場である昭和鯨城会に対する期待と要望は一層強くなることと思います。人の輪をこれからも大切にして頑張ってください。会の益々の発展を心より祈念いたします。

## 当時の思い出

第 11 代会長 近藤 勇雄

昭和鯨城会の 20 周年記念を心からお祝い申し上げます。

小生は第 11 代会長として平成 14 年 4 月から一年間勤めさせていただきました。会の活動は次の 3 つに重点を置いていました。第 1 は昭和区民まつりに何を出展するか。第 2 は THE SYOUWA 第 8 号の完成。第 3 は昭和鯨城リズム体操クラブの順調な運営です。

第 1 の区民まつりはこれまで年 2 回でしたが予算上 1 回に変更され、10 月ということになりました。これまでは 7 月に花苗を育成、店頭販売しておりましたが、10 月では季節上花苗は不可能です。発想を全面的に変え、季節に関係のない陶芸品を思いつき陶芸品の展示・即売・土鈴の絵付けを提案しました。結果は大成功で、1 日中子供の絵付けで席は満員、在庫品は一掃、用具類が不足し急遽買に入るなど忙しい 1 日でした。

第 2 の THE SYOUWA は 8 号を発刊することが出来ました。期間中メンバーのロータリークラブが本件でガバナー賞を受賞し、我々鯨城会のメンバーも式典に招待されました。

第 3 のリズム体操クラブの運営は、小生が代表で役員はすべて 14 期の鯨城会役員が兼務です。発足時 95 名(現在 130 名)の会員でしたが、そのうち 70%は昭和鯨城会

員であり、改めて皆様のご協力にお礼申し上げます。クラブも今年4月で創立10周年を迎え、順調に成長しております。

以上ですが折角の機会ですので、小生少し気がかりに思っていることがあります。区民まつりに出展している土鈴の絵付けです。最初の出展は成功しましたがそれから10年を経過しております。同じ様なものを10年間も出しているのは新味がなく来場者の気を引くことはなくなります。もうマイナーチェンジなりモデルチェンジを考えるべきだと思いますが如何でしょうか。ご検討下されば幸いです。

## 思 い 出

第14代会長 辻 慶明

昭和鯉城会創立20周年誠にめでたく御座います。小生が14代会長を命じられたのは、先に選任されていた方が体調不良により退会され、行事委員をしていた小生の処に廻って来たのです。会長と行事委員長の二役をやらねばならず、無我夢中で2年間かけづり回った事を懐かしく思い出します。

この年は愛知万博開催の年で万博でのボランティアで忙しい日々を過ごしました。又鯉城学園の20周年記念式典が金山の市民会館で行われ入場券が配布されたが、参加希望者が多く配券に苦労しました。考えた末、期毎の代表を訪ねて期毎に配券をお願いして納得して頂きました。この時の縁で会の在り様や運営の仕方を先輩会長に学ぶ事が出来たと思います。

またOB会としても会員全体がボランティアに意識を持って貰うためにはどうすべきかを役員会で検討し、社会福祉協議会に相談に行ったりして知恵を拝借、その結果

施設へタオルを寄付してはどうかということになり、広報誌で呼びかけたところ、ほぼ全員の方からタオルの提供をいただき470枚の協力を得る事が出来、昭和区内の15か所の施設に贈呈する事が出来ました。施設からは大変感謝され、鯉城OB会の名前を知って頂く良いチャンスとなり、現在のボランティア部として発展している事は嬉しい限りです。

尚会長当時には17期は当然の事16期・18期の皆さんの暖かい支援を頂き頑張つてこられた賜物だと感謝致して居ります。有難う御座いました。

## 創立20周年を迎えて

第16代会長 渡辺 信良

昭和鯉城会も平成24年2月に創立20周年記念式典を迎える事となりました。

これを記念して「昭和こじょう会便り」20周年特集号を発刊する事になりました事は、関係者のご支援のたまものであり御同慶の至りであります。一口に20年と言っても、その間先輩諸氏が昭和鯉城会発展の為の基礎づくりには並々ならぬご苦労があった事と推察いたします。

現在会員も200名を越える迄になり、組織も充実してまいりました。又会報にも記載されています様に、昭和区民の一員として、昭和区役所、社会福祉協議会、環境事業所、等々の事業に参加協力しながら、ボランティア活動の輪も広がってまいりました。

一方、会員各位との連絡、親睦を図る為、年4回の「昭和こじょう会便り」の発行と年数回の社会見学、散策、展示会等々の行事を実施されております。これからの事を毎年継続的に推進・実行されている事は大変重要であります。役員、執行部の方々の普段

のご努力には深く感謝しております。

20年という一つの節目を契機として、鯨城会本部との連携も密にし、地域に親しまれる昭和鯨城会になります様、一層の発展を祈念し、会員の皆様のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

## 共生への老力

第17代会長 長谷川 勝美

昭和鯨城会創立20周年おめでとうございます。

この20年という節目はゴールであり、スタートでもあると思います。昭和鯨城会は役員・会員が一丸となって各種各様の情報発信・収集により、会員の親睦、健康増進それに社会貢献等に努め、220名の有機的な組織としてのゴールを達成し、会員として大変喜ばしく誇りに思っています。

21年目のスタートとして“共生への老力”活用を会員の皆様をお願いして止みません(勿論、個人的に各方面に活躍されていることをも重々承知していますが)。

従来は、会員の社会貢献(還元)といえ、義理・付き合いなどによって強制的に労力を提供させられた所謂“強制の労力”によってなされたのが大半だったといっても過言ではないでしょう。少子高齢化し続ける社会のニーズとして我々会員の高齢者としての創造性、豊富な経験、趣味を生かした伝統文化の伝授など、多種多様な“老力”が求められているのではないのでしょうか。

私どもは経済的、精神的、肉体的に異なる社会環境の中で、異なる価値観を持った人々に生活の中で、人とのさまざまな違いを違いとして認め合いながら、共に人間として心豊かな生活を過ごしております。現に生きている喜びを感じ、また子々孫々まで

の文化継承の橋渡し役となるためにも、会員の潜在的な“老力”を主体性のある“共生への老力”提供者として積極的に社会参加して、地域力の強化・福祉文化の向上にさらに貢献しうる昭和鯨城会並びに会員を目指してスタートできたらと思います。

最後になりましたが、昭和鯨城会の更なる発展と会員の皆さまのますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

## 難しい区会活動

第18代会長 冨永 武義

平成20年4月に入会し副会長を、21年4月から1年間会長を務めさせて頂いた。

近隣に知人や親戚もなく、会社勤めが長く隣人との接触の少ないマンション住まい、子供もいないので学区との関係もないため、地域社会との交流は皆無だった。

学園に入学してもクラス・クラブの活動が主体で、地域との交流を意識したのはOBとなって昭和鯨城会に入ってからだ。地域社会とのかかわりの重要性を痛感しつつも、反面それが大変難しいことも実感した。

入会して二つのことが気になった。区会の過去の経緯を知るためには、「昭和こじょう会便り」の他に資料が全くないこと。学区毎のグループ分けは資料配布のためだけのものなのか？そこでまず、後日の参考のために役員会の議事録を残すこととした。また学区毎の情報交換の場を作るために、学区幹事連絡会を新たに実施し、学区毎の小グループの会話の場が作れないかと考えた。顔見知りの多いクラス・クラブの会合には参加しても、名前も知らない人の多い区会の行事には出席しにくいという声が多い。反面、地域とのかかわりは居住期間も長い人も多く、町内会や老人会にすでに加

入しており、また地元での趣味のサークルやボランティアグループに参加している人も多い。

区会活動は地域社会への貢献が一つの課題であるのに、どうやって「鯨城会として」ボランティアや諸行事を通じて地域社会との関連を深め、定着させるのか？区会活動も主として役員だけが参加している現状でいいのか？名案は浮かばない。定着させるための手立ては会員各自の意識にのみ頼らざるを得ないのだろうか？

会長を務めた一年間を通じて、常に頭が痛い問題であった。

## 20周年記念に対して

第19代会長 内藤 克巳

私が入会したのは平成21年の春でした。その後3年が過ぎ20周年の節目を迎える事が出来ました。これも先輩の皆様や、関連部署のご尽力の賜であり、20周年記念を迎える事をお慶び申し上げます。

この20周年を迎えた、平成23年は忘れきれない年でもありました。振り返ると

1. 東日本大震災の津波により、1万9千人有余の死者行方不明者と財産が消失しました。また福島原発も被災し、深刻な放射能汚染が発生した年。
2. 女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が優勝した嬉しい年。
3. 今年の世相を漢字一文字で表すと「絆」が選定された年。
4. 今年のレコード大賞には「AKB48」が受賞しました。

平成22年度に会長に任命された1年間を中心に思い出を聞いて頂きたい。

### ◎年度の目標と推進状況

1. 昭和鯨城会20周年の年、記念イベントを実施する。

準備委員会を立ち上げ履歴を調査・・・私が19代会長であり、20周年は来年度と判明した。それぐらい区会の資料が残されていない。

2. 学園図書室運営ボランティア委員を募り、学園経費削減に寄与する。

ボランティア委員を中心に21期生の先輩の協力もあり目標達成できた。

3. 毎月の行事参加者を30人/回以上にし、交流の場づくりとしたい。

残念ながら、大曾根鈴蘭南座観劇会が34人、他行事は23人/回であった。やはり「行事のちらし」を変化させるだけでなく、会員に個別アタックが必要である。

4. ボランティア活動の計画推進

クリーンパートナー作業、車椅子介助、なごやかハウス福原への庭木剪定、ゆめ緑道ごきそ花壇管理など実施したが、ボランティアを楽しむ境地には、まだまだ。

5. 広報活動として、「昭和こじょう会便り」60～63号を計画通り発刊できた。

私達は鯨城学園に入学し、人と人との絆の尊さを学んできた。

今、鯨城学園の存続が議論されている。平均68歳で入学し70歳で区会に入会している。その後、地域活動(町内会長、区政協力委員、保険委員、老人クラブ役員 など地域活動のリーダー)に活動されている人が多数に及んでいる。何を評価したのか？これからも東日本大震災の復興支援に協力していきましょう。

# 昭和鯨城会

## 創立20周年記念式典

平成24年2月15日(水)に昭和鯨城会創立20周年記念式典が昭和区役所講堂において、会員87名の出席のもとに盛大に開催された。式典式次第は次のとおりである。

### 1. 第1部 記念式典

- 1) 挨拶 開会挨拶 昭和鯨城会会長 枝廣 啓三  
来賓挨拶 昭和区役所区長 額額 敬吾 様  
昭和区社会福祉協議会事務局長 柏 光次郎 様  
鯨城学園副学長 松浦 滋 様  
鯨城会会長 日比野 勝 様
- 2) 功労者表彰 5期生 廣江 昭二 様 (伊勝学区)  
5期生 武内 銀蔵 様 (八事学区)

### 2. 第2部 講演とアトラクション

- 1) 特別講演 演題「イキイキ長生き、終美の作法」  
竹中 倭夫 先生 (名古屋大学医学部卒業 医学博士)
- 2) アトラクション ① マジックショー かれい倶楽部  
② 民謡・踊りと銭太鼓 鯨城民謡クラブ同好会

### 3. 第3部 記念植樹 植樹場所：天神町公園 記念樹：『ヒトツバタゴ』

## 記念行事写真

来賓挨拶



名古屋市昭和区長  
額額 敬吾 様



社会福祉協議会  
事務局長 柏 光次郎 様



高年大学鯨城学園  
副学長 松浦 滋 様



鯨城会  
会長 日比野 勝 様



枝廣会長開会挨拶



式典会場風景

功労者表彰



廣江 昭二 様 表彰



武内 銀藏 様 表彰



竹中先生の特別講演



マジックショー



鯨城民謡同好会の皆さん

アトラクション

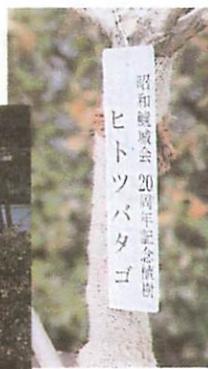


花笠音頭・銭太鼓

記念植樹



植樹をする会長



記念植樹のあとで

# 委員会 20 周年の記録

## 過去の行事回想

行事委員長 大塚 鐵太郎

行き先	回数
大須演芸場観劇	8
八事山散策	7
アサヒビール訪問	6
御器所廻り散策	5
キリンビール訪問	4
名古屋科学館プラネタリウム	4
東山植物園	4
熱田神宮・白鳥庭園	3
常滑焼の里	3
出前講演会	3

別計として(全体行事)	回数
昭和区民まつり	11
昭和区福祉まつり	11
昭和鯨城会作品展	10

表は 2003 年～2011 年の集計です

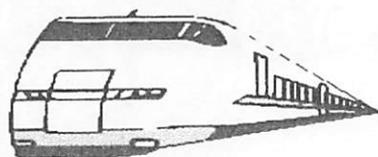
今年改装したプラネタリウムと、新たに開館したリニア鉄道館は今後回数が増えるかもしれませんね。

過去の行事について、訪問回数の多い順番に拾ってみました。殆どの所は皆さんも行かれたことがあると思います。どうぞ回想を楽しんでください。

ノリタケの森、  
リニア鉄道館、  
昼膳鶉飼、南  
禅寺、伊奈葉  
神社初詣、大  
曾根鈴蘭座、  
岡崎味噌蔵、レ  
トロ電車館、楊  
輝荘、名古屋



港水族館、自衛隊(守山・小牧)、名城変電所、東区歴史と文化の道、牧野ヶ原花見、愛地球博記念公園、犬山城、成田山初詣、常滑焼物の里、東山荘、ブルーボネット、有松しぼり会館、香積院、古川美術館・為三郎記念館、徳川園(美術館、蓬左文庫)、半田国盛、定光寺、大高水上姉子神社、農業センター、針名神社、海上の森、名古屋地方気象台、トヨタ博物館、浜名湖花博、NHK 名古屋、セントレア、暮雨巷 以上の通り延べ90ヶ所です。記載漏れがあるかもしれませんが？



# 委員会 20 周年の記録

## 「昭和こじょう会便り」について

広報委員長 近藤 修三

昭和鯨城会 20 周年目にあたり、記念行事の一環として「昭和こじょう会便り」の特集号を発行する計画がされてから、早いもので間もなく1か年を過ぎようとしている。

当初、特集号を発行することになり、過去の「昭和こじょう会便り」を調べようとしたが、残念ながら古い資料は何も引継されていなかった。したがって広報委員会としては、先ず過去の記録となる「昭和こじょう会便り」を探すことから始めなければならなかった。どの程度集まるか疑問であったが、関係者の協力を得て会員の古い人を頼りに収集に努めた結果、その人たちが保管していた資料を寄贈していただき、当初は創刊号から 8 冊を除いて 58 冊が集まった。その後も会長にお世話になり関係者に再度お願いして頂いた結果、幸いにも創刊号から 66 号まで全てを揃えることが出来た。

取り敢えずこの資料を頼りに、各委員会にも参考資料として関係分を複写・配布し、20 周年の記録をまとめてもらうこととした。広報委員会としてもこの資料を頼りに過去の記録を整理し、「昭和こじょう会便り」の表紙集と昭和鯨城会年表「昭和鯨城会 20 周年の歩み」を作成することとした。

この古い「昭和こじょう会便り」の変遷を見ると過去に編集に携わった関係者の苦勞が滲み出ている。最初の頃は B5 判 6 ページのパンフレット程度であったが、逐次頁数も増え内容が充実し、40 号からは A4 判になり表紙もカラー印刷されてきた。この頃になると内容も増え編集方法も変わり読みやすくなり、編集関係者の苦勞が実って来た感がある。

また記事についても、行事を始めクラブ活動の様子や鯨城会員の自由投稿などで活動状況が伝えられ、広報としての役割も発揮されてきている。このように先輩からの伝承を得て今日の「昭和こじょう会便り」となっており、その苦勞をしのびつつ更に発展させて、歴史の記録としての「昭和こじょう会便り」を発行することが広報の使命であると考え、今後とも努力を続けてゆく積りである。

最後になりましたが、過去の貴重な「昭和こじょう会便り」を寄贈頂きました関係者の方々には、厚く御礼申し上げます。おかげ様で 20 周年の記念すべき特集号が発行出来ることになりました。

# 委員会 20 周年の記録

## 最近の活動状況

ボランティア委員長 武田 進

昭和鯉城会は発足以来今年で 20 周年を迎えます。その間、数多くのボランティア活動は鯉城会 OB の方々から引き継がれ、その活動範囲も年々増加し地域の方々からも信頼を得るまでに成長してまいりました。現在行われているボランティア活動は下記の通りです。

- 1 川名の森づくり 「まちづくり推進室」指導 毎月催行  
川名の森づくり隊に鯉城会も参加 9 時～10 時 30 分 草刈り・植樹等
- 2 クリーンパートナー荒畑 毎月催行  
第 4 水曜日 9 時半に地下鉄「荒畑」瑞雲保育園前集合 約 1 時間清掃活動
- 3 学園図書室支援(受付事務)  
登録者は毎月 1～2 回 9 時 20 分～16 時 2 名づつ半日交替
- 4 花壇「ゆめ緑道ごきそ」  
毎週木曜日 川名に集合 9 時～11 時 30 分 2 名参加 苗づくり・花壇の花入れ替え・草取りなど
- 5 土鈴づくり  
4 月～7 月に 6 回 陶芸家指導のもと土鈴(素焼き) OB・委員 約 10 名参加  
120 個製作
- 6 昭和区福祉まつり  
8 月 21 日 区役所にて 10 時～15 時 陶芸品のチャリティ販売・土鈴の絵付け教室、売上げを併せて今年の 15%アップ
- 7 デイサービス鶴舞 付添車椅子介助  
5 月 16・18 日の 2 日間 14 時～15 時 3 名参加
- 8 名古屋市「心の絆創膏キャンペーン」  
6 月 2・13・16 日 17 時 30 分～18 時 30 分 地下鉄今池・原駅に各 3 名参加

- 9 デイサービス鶴舞 付添車椅子介助(イオン買い物介助)  
6月20・21・22日 13時30分～15時20分 イオン売店に各3名参加
- 10 昭和区埋蔵金(隠れた魅力)探し 事務局は昭和区役所まちづくり推進室  
6月25日～12月20日迄5日間 区役所会議室で計画検討・現地調査実施  
参加者は桜花学園高校生・先生を含め18名 鯉城会10名参加
- 11 「ゆめ緑道ごきそ」 7月～9月中旬まで花壇の水やり  
昭和鯉城会花壇・川名(二面)・荒畑(一面)に2班で当番制 2日毎に実施
- 12 昭和区防災訓練 <雨天中止>  
9月4日 9時～11時30分 川名公園内社協ブースで実施
- 13 鯉城会クリーンキャンペーン<雨天中止>  
10月15日 10時～11時30分 鶴舞公園で実施
- 14 デイサービス鶴舞 付添車椅子介助(バラ見物)  
10月17・18・19日 13時50分～15時 各3名参加
- 15 なごやかハウス緑化 場所 福原町特別養護老人ホーム  
朝顔植栽 6月3日9時～11時 鯉城会OB4名・委員会2名 計6名参加  
樹木剪定 10月27日9時～12時 鯉城会OB3名・委員会4名 計7名参加
- 16 昭和区視覚障害者福祉会ガイドボランティア  
11月6日9時～ 名鉄金山駅出発 岡崎：奥殿陣屋「歩こう会と社会見学」  
参加者視覚障害者9名・ボランティア9名(うち鯉城会3名と付添者参加)
- 17 名古屋市「心の絆創膏キャンペーン」(予定)  
24年3月16日 8時～ 鶴舞駅3番出口  
5時15分～ 鶴舞駅3番出口  
3月23日 8時～9時 御器所駅5番出口
- 18 マラソンフェスティバル「名古屋愛知」 コース整理等ボランティア(予定)  
24年3月9・10・11日 名古屋市内 鯉城会 11名参加

今後ともボランティア活動を通じて鯉城会の絆を深め、地域社会の仲間づくりに努めようではありませんか。

# クラブ 20 周年特集

## リズム体操クラブ 10 年の歩み

昭和鯉城リズム体操クラブ 顧問 近藤 勇雄

昭和鯉城会 20 周年おめでとうございます。

当リズム体操クラブも平成 14 年 4 月発足以来お蔭さまで 10 周年を迎えることができました。その間の経過を以下にご報告いたします。

### 1. クラブ開設

当クラブは平成 14 年 4 月 3 日昭和スポーツセンター第二競技場で発足式をあげました。講師は西川祐子先生、助手大塚雅恵先生です。西川先生は日本体操協会の公式指導員でベテランです。

会員は 95 名（現在 130 名）で昭和鯉城会会員 61 名 他地区員 34 名 男女別は半々です。役員は代表 近藤勇雄で当時昭和鯉城会の会長でクラブを兼務です。他の役員は 13 期 14 期の鯉城会の役員がクラブの役員も兼務して立ち上げました。

体操の練習日程は毎週水曜日午後 1 時間半です。会場は原則として昭和スポーツセンター第二競技場です。

当クラブは昭和鯉城会の外郭団体ですが会計は独立しており、鯉城会にご迷惑をお掛けすることなく健全経営を続けております。

### 2. リズム体操とは

最近 NHK のテレビ番組でリズム体操をやっておりますが、音楽に合わせて軽快に体操をやっていきます。

我々のやっていきますのは次の 5 つが要点です。

- イ) ウォーミングアップ（身体の状態をみる）
- ロ) みんなの体操（日常生活動作能力向上のための体操）
- ハ) みんなで楽しくレクダンス（青い山脈など）
- ニ) 筋肉強化運動（みんなで数えながら行いましょう）
- ホ) クールダウン（腹式呼吸を整えてかたまった筋肉をほぐし終わる）



### 3. 発表会

発足後毎週西川先生指導の下、会員が楽しく体操をして日ごろの運動不足を補う効用を味わってきました。平成 17 年 2 月 20 日愛知県体育館で行われた（第 36 回健康のための体操発表会）に出場しました。本大会は愛知縣体操協会主催で出場チーム 62 出場者 3,800 人の大きなものです。我々昭和は千種、東区のクラブと合同で 170 名のチームを整え「ゴム体操」で出演しました。我々は初出場で

したが見事な出来で審査員を魅了し会長賞を受賞しました。これは会員にとって大きな喜びで発足後3年のクラブの今後の地固めに大いに役立ったと思います。

次の発表会は平成20年2月24日(第39回)の大会で昭和、千種のクラブが合同し120名のチームとなり「風呂敷体操」で出演しました。このときは“元気はつらつ賞”を受賞しました。



#### 4. スポーツセンターの民間委託

平成18年4月名古屋市の方針で各区のスポーツセンターの管理業務は全て民間会社に委託されました。このためこれまでと異なった受付方法がとられ対応に苦心しました。その上最近利用者が増え会場確保が難しくなってきました。クラブ運営の今後の課題の一つです。

#### 5. 終わりに

我々高齢者のテーマは健康と運動を如何に保ち、意義のある生涯を送ることにあるとと思います。その観点からリズム体操は平素不足がちな運動を補完する役割をしていると思います。大事なことは一週一度の練習日が待ち遠しいような楽しいクラブを作ればクラブは長続きすると思ひ努力してゆきたいと思ひます。

昭和鯉城会の皆様方のご健勝を祈念しますと共に今後のご指導をお願い致します。

### 街角ニュース

### ウォーキング 3月25日(日):少雨決行

#### 昭和区(まちづくり推進室)の埋蔵金探しウォーキングに参加しませんか!!

私達のまちの埋蔵金(史跡や自然、珍しい建物など)を巡り、  
昭和区の素晴らしい所を訪ねてみましょう。

**スタートと 受付:** 鶴舞公園グリーンプラザ付近(地下鉄鶴舞駅4番出口すぐ)

9時~10時受付

コースは次の2コースあります:どちらか好きなコースに参加してください。

・飯田街道コース(約5.5km)

・塩付街道コース(約6.5km)

**ゴールと 受付:** 川名公園(地下鉄川名駅2番出口すぐ) 午後1時まで

詳細はまちづくり推進室作成のパンフレットを参照 または  
まちづくり推進室 : Tel 052-735-3821 に尋ねてください。

# クラブ 20 周年特集

## グラウンド・ゴルフ回顧

6 期（文化 A）吹上 春日井 正幸

光陰矢の如し……時の移り変わりの速さを実感しながら、グラウンド・ゴルフの発足当時の活動模様等を懐かしく回顧したい。

平成 4 年頃、先輩から「この頃シニアスポーツとして盛んになりつつあるグラウンド・ゴルフをやらないか」と奨められ、昭和鯉城会の行事の一つとして検討し、発足することになりました。用具一式（ホールポスト、スティック等）は昭和区役所が所有されており、これを借用することにしました。

そして、一番の難点は会場の確保でした。あちこち探した結果、取りあえず名工大北の花田公園でスタートすることにしました。ご承知のように公園は狭く、東側は小山状態ですが、ここもコースに含め、日時を決めて練習が開始されました。また、時々吹上公園や野球場等も使用して会場設営しましたが、「標準コース」の設営は一寸できませんでした。しかし、ボールを打った爽快感やホールインワンの期待感は堪能できました。



発足当時は自前の道具を持っている人はいませんでしたので、6 期の長戸俊郎氏が昭和区役所から一括借用して会場設営し、1～2 年はここで親睦を兼ねたプレーを楽しみました。参加者は当初 15～20 名程でしたが、昭和区グラウンド・ゴルフ協議会からの指導等を受け定着してきました。世話役も昭和鯉城会の役員編成時に希望者を募り交替しながら、参加者も漸次増加してきました。

各自自前の道具（スティック、球等）は、8 期の柴田会長、山本保人さんらが努力され購入することになり、また昭和鯉城会も自前の用具一式を購入しました。

この頃、会場も現在の高速高架下ミニスポーツ場へ変わることができました。本格的な標準コースを設営して、吹上、鶴舞学区の地域の皆さんも多数参加され、毎回 30 名程の現況に定着発展してきた次第です。

平成 9 年度から、毎年名東鯉友会との親善試合も行われるようになり、21 年 3 月からは鯉城会主催（全市 16 区）の交歓会に移行開催されて、毎年度恒例行事として盛会を極めるようになりました。

また昭和区内には、各学区代表による「昭和区グラウンド・ゴルフ協議会」があり、区役所も協賛して年数回北山、駒方中学グラウンド、吹上公園野球場で、愛好者大会や学区対抗大会が開催されており、鯉城会 OB の皆さんも多数各学区毎に参加され、活躍されています。

そして各年度の活動模様は、世話役の皆さんにより「昭和こじょう会便り」にグラウンド・ゴルフニュースとして詳しく発表されていますので、是非お読みくださるようお奨めします。

私達高齢者は、心身ともに健康で充実した生活を送るためにも、誰でも気軽にできる格好な軽スポーツを楽しむことが一番だと思います。

グラウンド・ゴルフを継続してプレーし、楽しみながら健康維持に役立てたいものだと念願しています。

## クラブ 20 周年特集

### 社交ダンスクラブの歩み

15 期 (健康) 川原 クラブ代表 奥中 健司

昭和鯨城会創立 20 周年おめでとうございます。昭和鯨城会 OB の皆様の盛大な活躍と協力の賜物とおもいます。「昭和こじょう会便り」も 67 号発行を迎え、その形態・内容ともに充実し、歴代会員の社会活動・親睦活動など記録として残り、鯨城学園存続が議論される中、有意義な資料としても活用され得るものと思っています。

私たち「社交ダンスクラブ」は、平成 21 年 2 月 15 日第 1 回例会(レッスン会)を開催して以来、本年 2 月でちょうど満 3 年を経過いたしました。当初は月 1 回の例会でしたが、会員の熱心な希望で月 2 回開催することになり、3 年間で 60 回の例会を開催する事が出来ました。

ご指導をお願いしている松浦敏子先生(名古屋市高齢者スポーツ教室教師)の他の教室との合同発表会が春と秋にあり、平成 22 年春から参加しています。初めは出演に消極的でした会員も、今では積極的に参加して日頃の成果を披露しています。

昨年は 5 月・8 月・11 月の 3 回「ワン・ピース」というダンス同好会(一般市民を含めた鯨城 OB ダンス愛好者の会)主催パーティーでフォーメーションダンスを披露しました。6 組～8 組の男女が最初から最後まで揃って踊るのは非常に難しいです。初回は数組が上気して失敗しましたが、回を重ねる内に自信もつき華麗なフォーメーションを披露するようになりました。

私たちは昭和スポーツセンターで初心者も、長年の経験者も共にダンスの基本を習い、楽しく美しく踊る事を目的に集まっています。現在の会員数は 23 名です。うち昭和鯨城会の会員は 7 名とごく少数です。第 1 日曜日と第 3 日曜日の午前中と、参集には条件が悪いようですが会員の増える事を願っています。よりクラブの充実を図りチャリティパーティー開催等計画したいと考えています。



(現在会員募集中 電話 752-0522 奥中まで)

# 昭和こじょう会便り表紙写真集

広報委員会

1995年7月創刊	1995年11月2号	1996年3月3号	1996年7月4号	1996年10月5号	1996年12月6号
1997年3月7号	1997年6月8号	1997年9月9号	1997年12月10号	1998年3月11号	1998年5月12号
1998年9月13号	1998年12月14号	1999年3月15号	1999年5月16号	1999年9月17号	1999年12月18号
2000年3月19号	2000年5月20号	2000年9月21号	2000年12月22号	2001年3月23号	2001年5月24号
2001年9月25号	2001年12月26号	2002年3月27号	2002年5月28号	2002年9月29号	2002年12月30号
2003年3月31号	2003年7月32号	2003年9月特33	2004年新年号34号	2004年3月35号	2004年6月36号

2004年9月37号 	2004年12月38号 	2005年3月39号 	2005年6月40号 	2005年9月41号 
2005年12月42号 	2006年3月43号 	2006年6月44号 	2006年9月45号 	2006年12月46号 
2007年3月47号 	2007年6月48号 	2007年9月49号 	2007年12月50号 	2008年3月51号 
2008年6月52号 	2008年9月53号 	2008年12月54号 	2009年3月55号 	2009年6月56号 
2009年9月57号 	2009年12月58号 	2010年3月59号 	2010年6月60号 	2010年9月61号 
2010年12月62号 	2011年3月63号 	2011年6月64号 	2011年9月65号 	2011年12月66号 

学園の歩み	
年度	卒業 運営と沿革
昭和61 1986	4月:高年大学鯉城学園開学 生活・文化・園芸(3学科)
昭和62 1987	4月:陶芸:新設(4学科)
昭和63 1988	1期生 9月:市生涯教育センターに移転
平成 1 1989	4月:生活・文化各2クラスになる
平成 2 1990	2
平成 3 1991	3
平成 4 1992	4 3月:5周年記念誌発刊
平成 5 1993	5
平成 6 1994	6
平成 7 1995	7
平成 8 1996	8 11月:学園専用校舎竣工
平成 9 1997	9 3月:10周年記念誌発刊
平成 10 1998	10 4月:地域・健康・美術新設(7学科)
平成 11 1999	11 4月:聴講制度導入
平成 12 2000	12
平成 13 2001	13
平成 14 2002	14 4月:環境・国際・福祉:新設(10学科)
平成 15 2003	15 4月:鯉城会発足・区会連絡会解散
平成 16 2004	16
平成 17 2005	17
平成 18 2006	18 3月:20周年記念式典・記念誌発刊
平成 19 2007	19 4月:指定管理者制度に移行
平成 20 2008	20
平成 21 2009	21
平成 22 2010	22
平成 23 2011	23 9月:ボランティアセンター開設
平成 24 2012	24
平成 25 2013	25

# 昭和鯉城会 20周年の歩み

昭和鯉城会の歩み				
会長	学区	学科	運営と沿革	会員数
			H3/2/28区会設立準備	51
			4月:名古屋市16全区会発足	
1 伊藤 秀雄	吹上	退会	区会連絡会として活動開始	84
2 廣江 昭二	伊勝	陶芸		95
3 春日井正幸	吹上	文化A		101
4 島崎 祥一	吹上	退会	7月:昭和こじょう会便り創刊号発行	103
5 柴田 武	松栄	退会		107
6 栗田 龍彦	川原	園芸		110
7 日比 昭満	御器所	園芸		106
8 後藤 林造	松栄	退会		122
9 川口 保	川原	退会		131
10 田中 龍夫	松栄	園芸		129
11 近藤 勇雄	広路	園芸		132
12 加藤 初雄	滝川	退会	4月区会連絡会解散:鯉城会へ入会	142
13 境野 紘	滝川	退会		150
14 辻 慶明	八事	国際		171
15 後藤 昇三	伊勝	美術		200
16 渡辺 信良	松栄	地域		205
17 長谷川勝美	八事	福祉		217
18 冨永 武義	松栄	文化B		216
19 内藤 克巳	鶴舞	環境		211
20 枝廣 啓三	八事	国際	鯉城ホームページ参加	220
			H24/2/15 20周年記念式典	

# 昭和鯉城会 20周年の歩み

年度	昭和鯉城会 委員会・クラブ										特記事項																	
	委員会活動・クラブ活動																											
	総務	行事	ボランティア					広報	各クラブ																			
平成 3 1991												・歩こう会・研修会・見学会・区民まつり参加																
平成 4 1992			4月									4月 福祉まつり参加																
平成 5 1993																												
平成 6 1994								7月																				
平成 7 1995												7月:昭和こじょう会便り創刊号発行																
平成 8 1996			4月																									
平成 9 1997	区会	区民まつり参加	福祉まつり参加	ライトハウス陶芸教室	ザ・シヨウワ地図作り	グリーンの会	なごやかハウスボランティア	クリーンパートナー	ゆめ緑道ごきそ	介護ボランティア	川名森づくり	荒畑花壇整備	図書室															
平成10 1998														2月														
平成11 1999																												
平成12 2000																												
平成13 2001																												
平成14 2002																												
平成15 2003																												
平成16 2004																												
平成17 2005														役員会・幹事会・学区連絡会		福祉まつり参加	土鈴製作活動	ザ・シヨウワ地図作り	グリーンの会	なごやかハウスボランティア	クリーンパートナー	ゆめ緑道ごきそ	介護ボランティア	川名森づくり	荒畑花壇整備	図書室	3月	3月:リズム体操クラブ発足
平成18 2006																												
平成19 2007																												
平成20 2008																												
平成21 2009																												
平成22 2010																												
平成23 2011																												
平成24 2012																												
平成25 2013																												

## 昭和鯨城会活動状況

総務委員会

平成 23 年 11 月

- 1 日(火) 鯨城学園図書室管理ボランティア (11 月度 7 回 7 名 参加)
  - 3 日(木) ゆめ緑道ごきそ川名花苗づくり (11 月度 4 回 5 名 参加)
  - 4 日(金) 役員会・各委員会開催 (役員、各委員 出席)
  - 4 日(金) たまり場交流会 (武田 参加)
  - 5 日(土) 川名公園森づくり (7 名 参加)
  - 6 日(日) 視覚障害者福祉会「歩こうか会と社会見学」 (古庄、馬嶋、武田 参加)
  - 14 日(月) 鯨城会代議員会 (枝廣 出席)
  - 14 日(月) 鯨城会合同趣味の作品展開催会場設営 (12 名 参加)
  - 15 日(火) 昭和区まちづくり研究会 (枝廣 出席)
  - 15 日(火) 鯨城会合同趣味の作品展 15 日～20 日迄 名古屋市博物館 (36 名参加)
  - 23 日(木) クリーンパートナー(9 名 参加)
  - 28 日(月) 鯨城会ホームページ作成協力委員会 (近藤 参加)
- 11 月度延参加人員:83 名(昭和鯨城会会議は除く)



趣味の作品展



趣味の作品展

平成 23 年 12 月

- 1 日(木) 鯨城会代議員会 (枝廣 出席)
- 1 日(木) ゆめ緑道ごきそ花苗づくり (古庄、吉田、武田)
- 3 日(土) 川名公園森づくり (雨天中止)
- 5 日(月) 鯨城学園図書室管理ボランティア (12 月度 5 回 6 名 参加)
- 8 日(木) 鯨城会OB文化祭 (枝廣、服部、佐藤 参加)
- 9 日(金) 役員会・各委員会開催(役員、各委員 出席)
- 9 日(金) 昭和鯨城会学区幹事会開催(役員、学区幹事 出席)
- 9 日(金) 昭和こじょう会便り 66 号発行

- 9日(金) 社会福祉協議会評議委員会 (枝廣 出席)
- 12日(月) 鯉城会GG連絡協議会 (横井 出席)
- 16日(金) ノリタケの森訪問 (8名 参加)
- 16日(金) 昭和区民まつり実行委員会 (枝廣 出席)
- 20日(火) 昭和区埋蔵金探しワークショップ (10名 参加)
- 28日(水) クリーンパートナー(8名 参加)
- 12月度延参加人員:42名(昭和鯉城会会議は除く)



ノリタケの森訪問



松栄学区集会

平成 24 年度 1 月

- 6日(金) 役員会・各委員会開催(役員、各委員 出席)
- 10日(火) 鯉城学園図書室管理ボランティア (1月度 5回 6名 参加)
- 14日(土) 松栄学区集会 昭和生涯学習センター(松栄学区会員)
- 16日(月) 鯉城会代議員会 (枝廣 出席)
- 19日(木) 鯉城会 25期生区会活動説明会 (10名参加)
- 23日(月) 鯉城会幹事会 (服部、佐藤 参加)
- 23日(月) 八事学区集会 コメダ珈琲店本店 上山店(八事学区会員)
- 24日(火) 熱田神宮初詣 (22名 参加)
- 25日(水) クリーンパートナー(7名 参加)
- 1月度延参加人員:48名(昭和鯉城会会議は除く)



25期生昭和鯉城会区会活動説明会



八事学区集会

## 4月～6月の行事予定 ★★★★★★★★★★★★

### [4月] 「新緑の八事山(興正寺)を歩く」

コース案内 : 約 3.5km、所要時間約 40 分

興正寺公園を出発点として、緑豊かな丘陵地である八事山にて、五重の塔や銅像大日如来像など多くの文化財をめぐるコースです。

\*実施月日 : 平成 24 年 4 月 29 日(日)

\*集合場所 : 八事興正寺 児童遊園地付近(興正寺総門西隣り立体駐車場北)

\*集合時間 : 午前 10 時 15 分

\*その他 : 雨天等でコース状況が悪い場合は中止します。

### [5月] 「宗次ホール クラシック鑑賞とランチ」

約1時間気軽にクラシック音楽を楽しむコンサートです。コンサート終了後東急ホテル2階中華料理「南国酒家」でランチ。

\*実施月日 : 平成 24 年 5 月 25 日(金) 雨天決行

\*集合場所 : 中区役所 1 階玄関前

\*集合時間 : 午前 11 時 00 分

\*その他 : 集合場所より徒歩5分宗次ホールへ移動<11時30分開演>

\*費用 : 2,400 円<コンサート及びランチの料金含む>

### [6月] 「名古屋市科学館プラネタリウム観望」

\*実施月日 : 平成 24 年 6 月 28 日(木) 雨天決行

\*集合場所 : 地下鉄伏見駅 5 番出口地上日土地ビル 1 階

\*集合時間 : 午前 10 時 30 分(ただし予約状況により変更されるかもしれません)

\*費用 : 800 円 ただし名古屋市に在住で 65 歳以上の方は 200 円

(要当日敬老手帳の提示コピー不可)

## 24年度行事予定 (7月以降の年間計画は次の通りです)

7月20日(金) : キリンビアパーク名古屋工場

8月19日(日) : 昭和区福祉まつり

9月24日(月) : 大須演芸場<落語>

10月28日(日) : 昭和区区民まつり

11月21日(水) : 桑名歴史探訪<六華亭、諸戸氏庭園等>・歌行燈にて昼食

12月21日(水) : 熱田神宮<摂社、末社>めぐり・白鳥物語で忘年ランチ

1月17日(木) : 新春京都初詣

2月25日(月) : 芝居小屋鈴蘭南座<大衆演劇>

3月22日(金) : 日泰寺と楊輝荘散策

## 活動レポート

### 「埋蔵金」探し」事業に参加

24期（地域）八事 石川 清美

名古屋市昭和区まちづくり推進室が、今年度はマップづくり事業として「埋蔵金」探しをテーマに計画した。昭和鯉城会もこれに協力し会員10名が参加しました。

この埋蔵金探しは、鶴舞から川名までの「まち歩き調査」を行い昭和区の埋蔵金(史跡や歴史的なもの、景観、自然などまちの魅力)の再発見と発信を行う事業です。



この関係では以前に、昭和区の「まちづくり推進部」の計画のもとに“住みたくなる昭和区”を目指して、市民に活用出来るもの为目标に、昭和区の歴史のみならず風景・川・道・町並み・施設など特徴のある多面的な地図「The SHOWA」を作成しました。この作成にあたっては、桜花学園高校生やロータリークラブとともに昭和鯉城会も参画して、平成11年2月に第1冊目を発刊。平成16年10月に第10冊目まで完成して、6年間にわたった計画を完了したものです。

今回は、自然観察指導員の篠田陽作さんの講演や桜花学園高等学校河合保昌先生の指導のもと、桜花学園高校生と昭和鯉城関係者が主体となり、昨年6月から12月まで計6回の検討会や「まち歩き調査」の結果から、新たな散策コースが選定されました。この散策コースは鶴舞を起点として川名まで、飯田街道を経由するコースと塩付街道を経由するコースで、それぞれ全行程およそ90分の2コースとすることになりました。

この新しく設定されたコースで3月25日には、市民参加のウォーキングイベントが開催されることになっており、今回の「埋蔵金」探しの協力関係者はボランティアとして参加することになっております。このコースが新たな昭和区の魅力発見につながることを関係者として期待しております。



# 行事レポート

## 熱田神宮初詣

22 期（福祉） 松栄 八木 兼雄

昔から「熱田さん」と呼ばれて親しまれた熱田神宮も、先のご遷座から今年で早三年。

平成 24 年 1 月 24 日(火)昭和鯨城会 1 月度の行事は熱田神宮初詣。会員参加者は 25 人程。19 期佐々木、21 期前田両氏の案内で二手に分かれ、木漏れ日の中で砂州神苑の説明を受ける。

広い境内には樹齢およそ千年の弘法大師お手植えと伝わる「大楠」、花が咲いても実のならない「ならずの梅」の間に点在するお社は、本宮(御本殿)の外、別宮 1 社、摂社 12 社、末社 31 社が鎮祭されています。その中の一つの鳥居脇に高床神明造の東・西八百万神社があります。この神社をお参りすれば各地の神社をお参りしたことになります。



本宮に無事息災と健康を祈願後、境内の有名な建造物である西楽所(徳川五代將軍綱吉の再建の舞楽神事の楽所)、信長塀(信長が桶狭間の合戦で戦勝のお礼に奉納した瓦葺の築地塀)などを見学し説明を受けました。さらに境内を奥に進み、佐久間大膳享勝之が海上で台風に遭ったが当時神宮に守護を祈っていて助かったので、そのお礼に寄進したという佐久間燈籠(高さ約 8 メートルの大石燈籠)や、尾張名所図絵・なごや甚句でも名高い板石 25 枚で造られた二十五丁橋の説明を聴きました。その他いろいろ説明を聴いているうちに大分時間も過ぎ、お昼近くともなると何処からともなくうどんのだし汁の匂いが漂い、これにつられて解散後に宮きしめんを食して帰宅しました。



# 行事レポート

## ノリタケの森を訪ねて

23期（陶芸）吹上 神谷 辰夫

ビル風で帽子を飛ばしそうな中を名古屋駅から徒歩でノリタケの森に向かいました。総勢は8人でややいつもの行事の会より少なめでした。12月16日の気候は冬型が強く外出には少し戸惑う感じでした。混雑する街中でも人数確認は一目でできるこじんまりしたパーティで和やかに昔の名駅界隈の話に花が咲いてあつという間にノリタケの森に到着しました。名駅の近くに有って広大な敷地が整備され自然との触れあいができるビオトープがゲートを入ると迎えてくれます。これは植物、昆虫、魚、鳥、など生き物の共生する自然を都市の中で再現しています。



カルチャーゾーン、ヒストリカルゾーン、コマーシャルゾーンと分かれている施設が造られています。まさに文化との出会いができる総合ジャー施設でした。今回は時間の関係もあってクラフトセンター、ウエルカムセンター、ノリタケミュージアムを見学しました。私は熟練の職人さんによる精緻な素描や転写絵付けなどの実演を見学することができ、ドイツで見学したマイセンの工房を思い出しました。

西洋から伝わった洋食器を逆に欧州やアメリカに輸出することになる技術力、職人技に日本の製造業の実力を知らされる気がしました。実は私もノリタケの森のリピーターとして先回訪れたとき素敵なマグカップを買いまして長く使っておりました。二か月ほど前にうっかりしてテーブルから落として割ってしまいました。気に入っておりましたので残念で寂しい気持ちでした。いい機会でしたので早速よく似た持ち手が同じマグカップを自分のために購入しました。

この二年間行事部に籍を置きいろんな所に連れて行ってもらいました。その度に思い出になる何かがあります。長らく名古屋に住んでいても知らなかった素晴らしい場所を知ることが何度もありました。参加の自由さもありがたいですね。興味を持った人が集まり出かけていき楽しんでくる気軽で有意義な時間を感謝しています。

老後の自由な時間をどのように過ごすかと言う事は私達に課せられた大きな問題です。そのためにはまず健康であること、次に目的を持つこと、多くの友達をつくることなどたくさんあります。その意味でも高年大学鯉城学園のような組織はぜひ続けてほしいと希望します。高齢化社会にあって誰でも安心して参加でき、心豊かな毎日を過ごす糸口を与えてくれる素晴らしい仕組みだと思っております。今日も一日ありがとう。

# 行事レポート

## 加子母の散策に参加して

24 期（地域） 八事 石川 清美

秋の紅葉がすすんだ木曾檜の里「加子母」を、“ゆめ緑道ごきそ”（代表・古庄健治氏、事務局長・長谷川勝美氏）の主催で、昨年11月9日（水）に交流会初の貸切バスの旅が実施された。

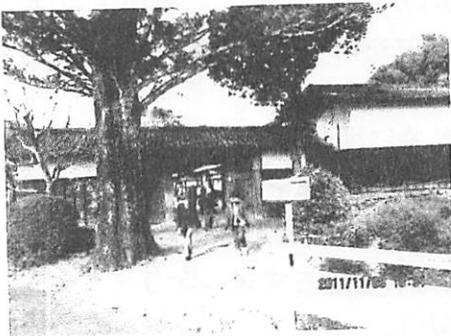
参加者は“ゆめ緑道ごきそ”の関係者を中心におよそ 20 名が参加した。当日は幸いにも天候に恵まれ、朝 8 時には御器所教会前を出発し、途中の景色を車窓から眺めながら 9 時頃には中津川で高速道路から離れ、木曾路を一路岐阜に向かう国道 257 号線で中津川市の加子母に到着した。加子母は都会の騒然としたところとは違い秋色豊かな田舎の集落で、北に向かって山を越せば御嶽山の麓へ通じる所です。

今回の加子母の散策には篠田陽作先生も同行され、先生の案内で地元名家や法禅寺の解説、更には路傍の植物のことなど多岐にわたる説明を受けながら、およそ 1 時間 30 分のコースを散策しました。

この散策が終わるころには、皆お腹の方も空いてきて近くの道の駅で昼食とし、それぞれ地元の料理で楽しみ、帰りには野菜を始め朴葉寿司などの土産をたくさん買入れる事になった人も多かったようです。

午後の予定では別のコースへも出る予定でしたが、参加者は若くないのであまり動きたくない人が多く、近くのフラワーセンターで買い物や見物をして、帰りの時間を繰り上げて帰宅の途につきました。

この日は“ゆめ緑道ごきそ”の初めての遠出となり、新しい所に行けたことで皆楽しい 1 日を過ごしました。



## 随分自然が少なくなりました

24期（国際） 村雲 石田 孝司

今日も朝から老人施設の新築工事に伴う騒音がうるさく響いています。そんな中メジロの声が聞こえてきました。冬を前に今年も山から下りてきたのです。しかしわずか3羽、以前のように群れたにぎやかな姿は想像する事も出来ません。

30～40年程前、名古屋の真ん中御器所2丁目、ここにも随分自然が残っていました。いろいろな生き物が元気に生きていました。

アオダイショウが脱皮して、篠竹に皮を残していたり、（縁起を担いで今も財布に入れています）モズは捉えたトカゲを梅の小枝に刺しておいたり、スズメのひなが5羽も6羽も



親鳥につきまとい羽を震わせて餌をねだる姿等も良く見られました。今は1羽育てるのがやっとの様子です。その他にも玉虫が羽を十字にして飛ぶ姿や、ギンヤンマが公園の池の上を飛び交う姿、青虫を狩りするジバチの姿、ひょうきんなオケラ……久し振りに懐かしく思い出されます。消えていった生き物はまだ

居ます。ミノムシ、カタツムリ、ムカデ、どこにでもいて、誰でも知っていた虫たちですが、外国からの天敵にそして開発に伴う環境の変化に消えていったようです。

周りにたくさんあった畑や家庭菜園、その殆んどは駐車場に姿を変え、樹木に囲まれた広いお屋敷はミニ開発で3つ4つに細分され、少しまとまった土地は背の高いマンションへと、土の面はどんどん消え、草木の緑は目に見えて少なくなっていました。

順応できない生物が死に絶え、それを餌としていた生物も否応なしに消えて行きました。

コンクリートの無味乾燥の“白い町なごや”、無計画・無施策ともいえる開発の結果で、今更やり直しは不可能。 今後は少しでも、潤いと癒しの場を残しておいてほしいものです。 多様な生物が生きている環境を大切にしたいものです。

# 自由投稿

## 男子小便器考 外に漏らすな松茸の露

20期 (美術) 鶴舞 渡辺 晴朗

男性の皆さん、最近各所で小便器に写真に示すようないろんなマークがプリントされていることに気が付かれませんか？(図-1) この意味が奈辺にあるかの一考察を試みます。

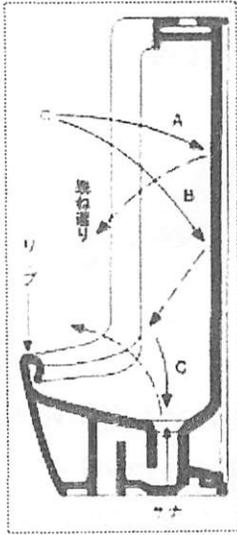


図-2 放出の向きと跳ね返りの関係

私が最初に思ったのは、便器メーカーの親切ということでした。と言いますのは、どんな便器でオシッコをしても、目には見えませんがその飛沫が跳ね返って来ます。子供の頃は飛ばしっこをしたものでしたが、野原でするからいいのであって、トイレでそんなことをしたら飛沫の跳ね返りは大変なことです。

ずいぶん以前に科学雑誌で、オシッコの跳ね返りの程度を調べた結果を見たことがあります。(図-2) この齢ともなると前立腺の具合もあり、とても飛ばしっこのようなAの軌跡は夢のまた夢ですが、と言ってほぼ真下への放出Cとなっても、便器の排尿口のサナの形から足元への跳ね返りが大きいのです。したがってBのような位置への放出だと跳ね返りが少なく、便器メーカーがそれとなく放出の狙い所を親切にも示してくれているのだと解釈しました。しかし、よく考えてみるとこれは別の意味があることに気が付きました。

それは、TOTO(便器メーカー)に行ってどういう理由からあのようなマークを付けたのかを尋ねてみたのですが、メーカーとしては付けていないとのことで、別途便器設置者と便器販売屋との関係だろうということでした。このことから、これらのマークは我々利用者のためというよりは、トイレ管理者側の都合であろうと思うに至りました。オシッコの跳ね返りは、放出者には目に見えずにズボンや足元を汚しているのですが、トイレとしては何人もの人の分が床に溜ります。それだけではなく、慌てて横方向つまり壁に向かっての直接の放出ということもあり得ます。

そこでこのマークはそういった便器外への放出を防ぐため、男性の子供時代の習性を逆手にとっての誘導マークなのだと思うに至りました。子供の頃、野原での立ち小便で飛ばしっことは別に、何かを見つけてそれを狙って放出する(ミミズにだけはかけるなど言われていましたが)という習性です。便器に見慣れないマークがあれば子供の頃の習性が蘇り、それを狙って放出することになるという魂胆なのでしょう。ここに思いが至ったのは、もう60年近く昔、京都は東山山麓のお寺を巡った時、三千院と詩仙堂で入ったトイレ…木造で勿論水洗トイレでない…で見た短冊の優雅な注意書きを思い出したからです。

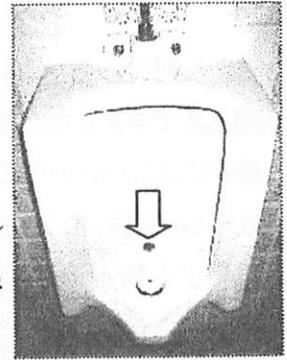


図-1 小便器マーク

三千院では「急ぐとも 西や東に垂れかけな 南(皆見)る人の北(汚)なかりける」と東西南北を詠みこんだ風流なものでした。詩仙堂では「急ぐとも 心静かに手を添えて 外へこぼすな 松茸の露」というものでした。詩仙堂にあったこの和歌と同じ文言が、高年大学の裏北角のうどん屋のトイレに額に入れて掛っています。(図-3)



図-3 鯉城学園近くのうどん屋のトイレ

昔からトイレの管理者はオシッコの垂れこぼしに手を焼いていたのでしょう。便器外への飛散を防ぐための注意書きはいろいろあるようですが、学園のは全く色気がなく、単に「もう一步前へ」という札が貼ってあるだけです。(図-4) もっとも前述の科学雑誌の記事では、便器に接近しての放出の方が跳ね返りのズボンへの付着度合いは少ないとありましたから「もう一步前へ」もトイレの汚れ防止には有効なのでしょう。

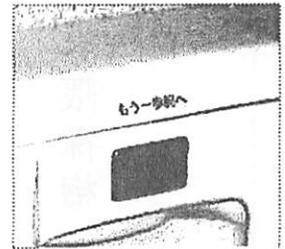


図-4 学園

30年程昔のことですが、御園座から西へ行ったところに海軍酒場という店があり、軍歌を皆で歌う酒場でしたが、そのトイレでは「一步前へ！ 構え！ 照準宜う候！ 発射！」と勇ましいものでした。

数年前、韓国から帰国した人の話だそうです、仁川国際空港のトイレでは、男子小便器のマークが「てんとう虫」だったとのこと。この元はドイツのライブツィヒの有料トイレで、ここでは「蠅」のマークだったそうで、「てんとう虫」ではオシッコをかけるのは可哀そうだと思って却って的外すかもしれないと試行錯誤の末「蠅」になったのだという説があるそうです。

今のところ私が見た限りでは図-5のような4種類ほどのマークで、虫の絵などと洒落たものではなく、ずばり的としか言いようがないマークばかりですが、今後どんな新しいマークが出現するのか楽しみです。

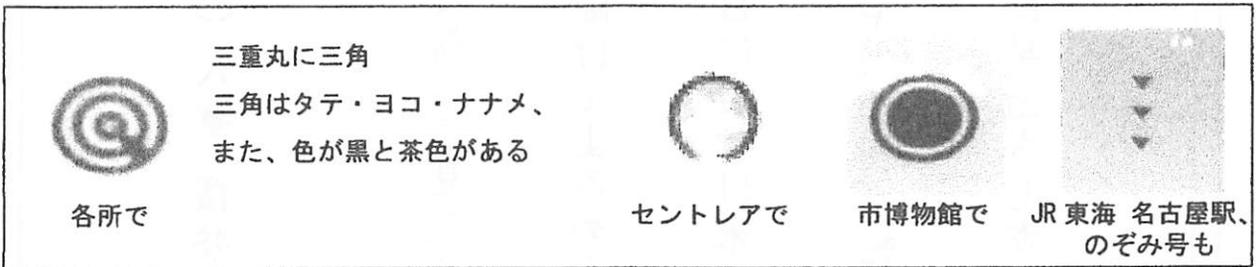


図-5 マークのいろいろ

どこのホテルだったか失念してしまいましたが、横文字の注意書も見たことがあります。「Stand closer, for it is shorter than you think. And keep toilet clear. (自らが 思うほどには大きくはなし 一步前進 外に垂らすな : 渡辺訳)」何はともあれ、トイレでは注意を払って綺麗に使いましょう。

俳句



十八期（陶芸） 八事 桜井建郎

日溜りにひしと寄り添い福寿草

一人して韓ドラ見入る夜長かな

年なりにのんびり過ごす三が日

竜胆を除けてよろめく下山かな

落葉踏む足音静か古寺の朝

木漏れ日に鈴付け木曾のきのこ狩り

眼鏡かけ新聞暮見る冬の朝

ペアースキー仲良く転び雪の雛

陽を浴びて八事界限探梅に

涅槃図に早逝きし友重ね見る



## 掲示板

### 平成 24 年度 昭和鯉城会総会案内

日時 : 平成 24 年 4 月 12 日(木) 午前 10 時～11 時 35 分  
場所 : 昭和区役所 2 階講堂  
受付 : 午前 9 時 30 分より  
行事 : I. 総会  
II. 学区連絡会

**訂正とお詫び** : 先回発行の 66 号に次の間違いがありました。下記の通り訂正してお詫び申し上げます。

- ・目次「社交ダンスクラブニュース」の投稿者名は、正しくは野間清孝(20 期)福祉です。
- ・8 頁合同作品展 No.18 の出品者は、正しくは 村雲 24 期文化横井純夫です。
- ・10 頁 投稿者氏名は、正しくは 24 期(文化 B)村雲 横井純夫です。
- ・17 頁 クラブ便り上から 8 行目の『連功 18 法』は、正しくは『練功 18 法』です。

## 編集後記

創立 20 周年特集号を発行することに携わってみて、歴史の記録としての「昭和こじょう会便り」が公式に引き継がれていないことがわかった。これまでも鯉城会のことでは、何かわかり難いこともあったが、これは引継等が十分でなかったものと思われる。しかし、それを補えるのは、唯一この広報誌「昭和こじょう会便り」である。幸い関係者にご寄贈いただき創刊号から 66 号まで全号が収集でき、20 周年記念特集号を刊行することが出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。

これからも広報委員として、会員のために出来るだけ充実した広報誌づくりに努め、昭和鯉城会の記録として役立つ「昭和こじょう会便り」としたいと思う。

### 昭和鯉城会『昭和こじょう会便り』20 周年記念特集号

発行責任者 枝廣 啓三  
編集委員長 近藤 修三  
野村 利夫 太田重三郎 梶川 敏男山田アイ子  
石川 清美 佐藤 幸男 高島 徹  
國枝三枝子 後藤美恵子辻 和子



八事山興正寺 納骨堂